

熟議を開催しました

熟議とは、さまざまな人たちが集まって課題解決のために意見を出しあい、話し合いを重ねていくことです。相互理解が生まれ、目指すべき学校や地域、子どもの姿を共有することができますとともに、課題解決のアイデアにつながる場合もあります。

8月23日(月)午後の熟議には18名が参加し、各学校ごとの分科会に別れて話し合いを行いました。八森小学校は「クマなどの野生動物と児童の安全」「感染対策と地域との交流バランス」「少子化による地域の活力減少と学校の役割」について、峰浜小学校は「高学年に触れさせたいジオパーク」「少子化による地域の活力減少と学校の役割」について、八峰中学校は「小・中連携地区奉仕活動」「八峰あったか思いやり運動」についてです。さまざまな意見やアイデアとともに、笑い声が交じる楽しい(?)熟議になりました。

小沢会長のコメント：「難題なテーマが多くて簡単にはいかないが、熟議は解決の切り口を見つけることと、学校と地域のコミュニティを醸成するために行うもの。今後も関心ある方に参加を呼びかけながら、当会も熟議を通して成長していきたい」。



令和3年度
第7号
R3/8/31
CSデイルター
工藤

Dのあっちこっち見聞録

●八峰中の特別講座

夏休み前日の7月21日(水)午前中、八峰中学校では、学年ごとに特別講座を開催しました。

1年生は、日本赤十字社秋田支部の指導員等による『救命救命講座』を、2年生は、町社会福祉協議会の社会福祉士による『認知症サポーター養成講座』を、3年生は、能代警察署職員による『情報モラル講座』をそれぞれ受講しました。

社会が複雑化、多様化している中で、生徒がさまざまな分野で見聞を広めることはとても大切なことです。なお、救急救命講座と認知症サポーター養成講座の講師は地元の方でした。生徒と交流できて楽しそうでした。

●小・中学生の地区奉仕活動

7月21日(水)午後、町内の小・中学生が、地区の奉仕活動に取り組みました。目的は、奉仕の心をそだてるとともに、ボランティア活動への積極的参加の意欲を高めるためです。

道路や海岸のクリーンアップ、旧塙川小学校や自治会館の花壇の手入れなど、多くの地区で地域の方々と交じって作業を行いました。地域の人たちも、子どもたちが自分の住んでいる地区を見つめる良い機会だと歓迎していました。



●中学生の学習支援事業

夏休み期間中、今年も八峰中学校では地域未来塾事業(学習支援事業)を開催しました。地元講師のもとで、勉強する習慣を身に付けさせようとするもので、午前は3年生、午後は1、2年生が対象で、ほぼ全員が参加しました。

今年は、夏休み前半が猛暑でしたが、ここは冷房完備なのでだいぶ助かったとのこと。学習の効果は冬頃に表れるそうですよ。



●先生方のICT研修

夏休み中、教職員向けのICT活用研修会が行われました。8月16日(月)午後は八峰中学校、17日(火)午前は八森小学校と峰浜小学校でした。もちろんリモートでの研修です。ICT教育の内容や活用方法は日々進化していくので、先生方も日々勉強です。おつかれさまでした。



★子どものネットトラブルは早めに相談を

夏休み中、ネット利用の時間が増えて、体調を崩したり、犯罪に巻き込まれる事例が増えています。心配な兆候が見られる場合は、早めに学校や関係機関にご相談ください。

○お礼

夏休み中、朝の小学生ラジオ体操に参加いただいた地域の方々には、厚くお礼申し上げます。

